

第168回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 総合問題 (仕訳単位：千円)

(1) 自己株式

① 整理仕訳

(借) 自 己 株 式	4,000	(貸) 投 資 有 価 証 券	4,100
(〃) 自 己 株 式 支 払 手 数 料	100		

(2) 投資有価証券

① 評価差額

(a) X社株式

$$\{12,000 \text{ 千円 (当期末時価)} - 11,500 \text{ 千円 (減損後の取得原価)}\} \times \{1 - 0.3 \text{ (法定実効税率)}\} = 350 \text{ 千円}$$

(b) Y社株式

$$\{10,700 \text{ 千円 (当期末時価)} - 12,000 \text{ 千円 (取得原価)}\} \times \{1 - 0.3 \text{ (法定実効税率)}\} = 910 \text{ 千円}$$

② 整理仕訳

(借) 投 資 有 価 証 券	500	(貸) 繰 延 税 金 負 債	150
		(〃) その他有価証券評価差額金	350
(借) 繰 延 税 金 資 産	390	(貸) 投 資 有 価 証 券	1,300
(〃) その他有価証券評価差額金	910		

③ 解答の金額

$$\star \text{投資有価証券} : 27,600 \text{ 千円 (決算整理前残高試算表(以下「前T/B」)・投資有価証券)} - 4,100 \text{ 千円 (自己株式)} + 500 \text{ 千円 (評価益)} - 1,300 \text{ 千円 (評価損)} = 22,700 \text{ 千円}$$

$$\star \text{その他有価証券評価差額金} : 350 \text{ 千円 (評価益)} - 910 \text{ 千円 (評価損)} = \triangle 560 \text{ 千円}$$

(3) 社債

① 期中仕訳の訂正

(借) 社 債	5,000	(貸) 仮 払 金	5,600
(〃) 社 債 利 息	600		

② 社債利息の見越額

$$\{30,000 \text{ 千円 (前T/B・社債)} - 5,000 \text{ 千円 (X3年12月末償還分)}\} \times 4\% \times 3 \text{ ヶ月 (X4年1月～X4年3月)} / 12 \text{ ヶ月} = 250 \text{ 千円}$$

③ 整理仕訳

(借) 社 債 利 息	250	(貸) 未 払 社 債 利 息	250
-------------	-----	-----------------	-----

④ 解答の金額

$$\star \text{社債利息} : 350 \text{ 千円 (前T/B・社債利息)} + 600 \text{ 千円 (訂正分)} + 250 \text{ 千円 (クーポン利息の見越分)} = 1,200 \text{ 千円}$$

$$\star \text{1年内返済予定の社債} : 5,000 \text{ 千円 (X4年6月末日の返済予定分)} + 5,000 \text{ 千円 (X4年12月末日の返済予定分)} = 10,000 \text{ 千円}$$

$$\star \text{社債} : 25,000 \text{ 千円 (繰越高)} - 10,000 \text{ 千円 (1年内返済予定の社債)} = 15,000 \text{ 千円}$$

(4) 退職給付引当金

① 利息費用

40,000 千円 × 1% (割引率) = 400 千円

② 長期期待運用収益

28,000 千円 × 5% (長期期待運用収益率) = 1,400 千円

③ 過去勤務費用 (不利差異) の償却額

3,000 千円 ÷ 10 年 = 300 千円

④ 退職給付費用

2,600 千円 (勤務費用) + ① - ② + ③ = 1,900 千円

⑤ 整理仕訳

(借) 退職給付費用	1,900	(貸) 退職給付引当金	1,900
------------	-------	-------------	-------

⑥ 解答の金額

☆退職給付引当金 : 10,000 千円 (前T/B・退職給付引当金) + 1,900 千円 (退職給付費用) = 11,900 千円

(5) 減価償却

① 建物

{80,000 千円 (取得原価) × 90%} - 71,280 千円 (前T/B・建物減価償却累計額) = 720 千円

② 備品

1年目の減価償却費 : 40,000 千円 (取得原価) × 0.25 (償却率) = 10,000 千円

2年目の減価償却費 : 30,000 千円 (未償却残高) × 0.25 (償却率) = 7,500 千円

3年目の減価償却費 : 22,500 千円 (未償却残高) × 0.25 (償却率) = 5,625 千円

4年目の減価償却費 : 16,875 千円 (未償却残高) × 0.25 (償却率) ≒ 4,219 千円

5年目の減価償却費 : 12,656 千円 (未償却残高) × 0.25 (償却率) = 3,164 千円

6年目の減価償却費 : 9,492 千円 (改定後原価) × 0.334 (改定償却率) ≒ 3,170 千円

ア) 改定前の減価償却費 = 9,492 千円 (未償却残高) × 0.25 (償却率) = 2,373 千円

イ) 保証額 = 40,000 千円 (取得原価) × 0.07909 (保証率) ≒ 3,164 千円

ア) < イ) ∴ 改定償却率の使用

当期の減価償却費 : 9,492 千円 (改定後原価) × 0.334 (改定償却率) ≒ 3,170 千円

③ ソフトウェア

6,300 千円 × 12 カ月 / 42 カ月 (残存有効期間) = 1,800 千円

④ 整理仕訳

(借) 減価償却費	3,890	(貸) 建物減価償却累計額	720
		(〃) 備品減価償却累計額	3,170
(借) ソフトウェア償却額	1,800	(貸) ソフトウェア	1,800

⑤ 解答の金額

☆建物 : 80,000 千円 (前T/B・建物) - {71,280 千円 (前T/B・建物減価償却累計額) + 720 千円 (当期の減価償却費)} = 8,000 千円

☆備品 : 40,000 千円 (前T/B・備品) - {33,678 千円 (前T/B・備品減価償却累計額) + 3,170 千円 (当期の減価償却費)} = 3,152 千円

☆ソフトウェア : 6,300 千円 (前T/B・ソフトウェア) - 1,800 千円 (当期の減価償却費) = 4,500 千円

(6) 商品売買

① 収益認識

(a) 訂正仕訳 (A社)

(借) 売	上	4,300	(貸) 売	上	割	戻	4,300
-------	---	-------	-------	---	---	---	-------

(b) 3月分に係る変動対価 (A社)

16,500千円 (20X4年1月1日から3月末までのA社に対する販売合計額) × 10% = 1,650千円

1,650千円 - 900千円 (前T/B・返金負債) = 750千円

(c) 売上修正 (BB4302) (B社)

検収日が3月29日であるため、当期の収益として認識する。

(d) 整理仕訳

(借) 売	上	750	(貸) 返	金	負	債	750
(借) 売	掛	金	500	(貸) 売	上		500

② 売上原価の算定

(a) 見本品

(借) 見	本	品	2,000	(貸) 仕	入	2,000
-------	---	---	-------	-------	---	-------

(b) 期末商品

60,000千円 (期末商品帳簿棚卸高) + 400千円 (BB4303) × 60% (原価率) = 60,240千円

(c) 整理仕訳

(借) 売	上	原	価	231,000	(貸) 繰	越	商	品	50,000
					(〃) 仕		入		181,000
(借) 繰	越	商	品	60,240	(貸) 売	上	原	価	60,240

③ 解答の金額

★売上：298,000千円 (前T/B・売上) - 4,300千円 (前T/B・売上割戻) - 750千円 (A社に係る3月分) + 500千円 (売上修正) = 293,450千円

★売上原価の算定

50,000千円 (前T/B・繰越商品) + 183,000千円 (前T/B・仕入) - 2,000千円 (見本費) - 60,240千円 (期末商品帳簿棚卸高) = 170,760千円

☆売掛金：32,000千円 (前T/B・売掛金) + 500千円 (売上修正) = 32,500千円

☆返金負債：900千円 (前T/B・返金負債) + 750千円 (A社に係る3月分) = 1,650千円

(7) 貸倒引当金

① 売掛金 (一般債権)

32,500千円 (解答の金額) × 2% (貸倒実績率) - 500千円 (前T/B・貸倒引当金) = 150千円

② 差入保証金 (貸倒懸念債権)

2,000千円 (貸倒懸念債権) × 50% (貸倒実績率) = 1,000千円

③ 整理仕訳

(借) 貸	倒	引	当	金	繰	入	額	150	(貸) 貸	倒	引	当	金	1,150
(〃)	営	業	外	貸	倒	引	当	金	繰	入	額	1,000		

④ 解答の金額

☆貸倒引当金（流動資産）

$$500 \text{ 千円 (前 T/B・貸倒引当金)} + 150 \text{ 千円 (貸倒引当金繰入額)} = 650 \text{ 千円}$$

(8) 税金等

① 当期末将来減算一時差異

$$(1,000 \text{ 千円 (貸倒引当金)} + 7,500 \text{ 千円 (投資有価証券評価損)} + 11,900 \text{ 千円 (退職給付引当金)}) \times 30\% \text{ (法定実効税率)} = 6,120 \text{ 千円}$$

② 法人税等調整額

$$6,120 \text{ 千円 (当期末将来減算一時差異)} - 5,850 \text{ 千円 (前 T/B・繰延税金負債)} = 270 \text{ 千円}$$

③ 法人税、住民税及び事業税

$$(54,100 \text{ 千円 (課税所得)} + 1,000 \text{ 千円 (貸倒引当金の増減額)} - 100 \text{ 千円 (退職給付引当金の増減額)}) \times 30\% \text{ 法定実効税率} = 16,500 \text{ 千円}$$

④ 整理仕訳

(借) 繰延税金資産	270	(貸) 法人税等調整額	270
(借) 法人税、住民税及び事業税	16,500	(貸) 仮払法人税等	15,000
		(〃) 未払法人税等	1,500

⑤ 解答の金額

$$\text{☆繰延税金資産} : 5,850 \text{ 千円 (前 T/B・繰延税金資産)} + 270 \text{ 千円 (法人税等調整額)} + 390 \text{ 千円 (その他有価証券・評価損)} - 150 \text{ 千円 (その他有価証券・評価益)} = 6,360 \text{ 千円}$$